Ⅱ 中期経営目標の達成に向けた取り組み

～事業環境変化に対する当社戦略～

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

2024年度の重点項目

中部電力

エネルギー事業領域	お客さまニーズに寄り添った料金・サービスの提供	<P11>
	地域特性に合わせた最適な設備構築	<P12>
	脱炭素電源の開発・拡大によるCN社会実現への貢献	<P13-15>
	浜岡原子力発電所の再稼働に向けた取り組み	<P16>
新成長領域	お客さまニーズや地域課題に応じた新たなサービスのお届け	<P17>
	不動産事業を通じた地域活性化	<P18>
	マルチユーティリティサービスの提供によるお客さま・地域への貢献	<P19>
経営基盤	資本コストを意識した経営の実現とPBRの向上	<P20>
	人的資本のさらなる価値向上	<P21>
	コンプライアンス、ガバナンスに係る取り組み	<P22>

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

お客さまニーズに寄り添った料金・サービスの提供

環境変化
3 電源流動化
4 CNに向けたGX拡大

中部電力

安心・便利・安価なエネルギーサービスの提供

● 社会環境変化とともに**お客さまのニーズが多様化**する中、これまで築いてきた**お客さまとの関係をより強固**なものとし、**ニーズに寄り添った料金やサービスを提供**してまいります。

ビジネス（業務用・産業用）

➢ **負担軽減策の継続実施**による、安価なエネルギーのお届け

➢ 脱炭素ニーズの高まりを踏まえた**サービスラインナップの充実**

詳細はコチラ

省エネ
省エネサポート、エネルギー源転換等のソリューション
電気設備 | 洗浄技術 | IoT | DX

創エネ
新たな再エネの「追加性」に貢献
オンサイトPPA | オフサイトPPA
自社で創るでんき

Green化
再エネの地産地消・地域貢献
Greenでんき | 県産Greenでんき
ミライズGreenでんき

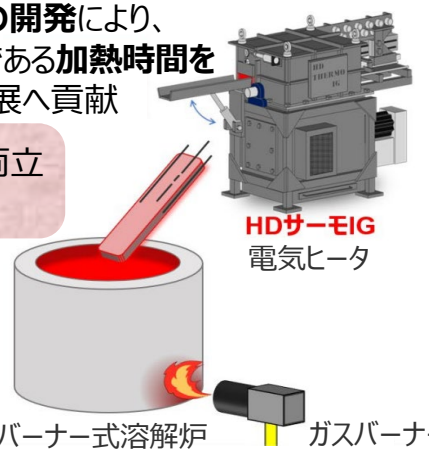
お客さまの生産性向上と脱炭素化を実現

➢ **電気ヒータ**を活用した**予熱装置の開発**により、アルミの溶解における従来の課題である**加熱時間を大幅短縮**し、お客さま・社会の発展へ貢献

✓ **加熱時間短縮**と**品質維持**の両立
✓ **CO2排出量削減**

生産性向上と**脱炭素**の実現

株式会社日本高熱工業社、
株式会社豊電子工業と共同開発



➢ アルミ分野の知見を活かし、他の素材・分野への展開を加速してまいります。

調達ポートフォリオの最適化／リスク管理の高度化

● **燃料価格のボラティリティ**や**制度変更に伴う電源流動化**等により、**不安定な事業環境が継続**しておりますが、このような状況においても**発販分離により得た機動的な対応力**等の強みを活かし、**安全・安価・安定的にエネルギーをお届け**してまいります。

最適な調達ポートフォリオ構築

➢ **お客さまのニーズ（経済性・価格安定性・環境性）**を踏まえた**最適な調達先・電源種別の組み合わせ**により、調達ポートフォリオを構築してまいります。

リスク管理の高度化

➢ 電源調達環境が大きく変化する中、リスクの**「定量化」「評価」**および**スワップ・オプション取引**などを含めた**「対策」**の実施により、**リスク管理を高度化**してまいります。

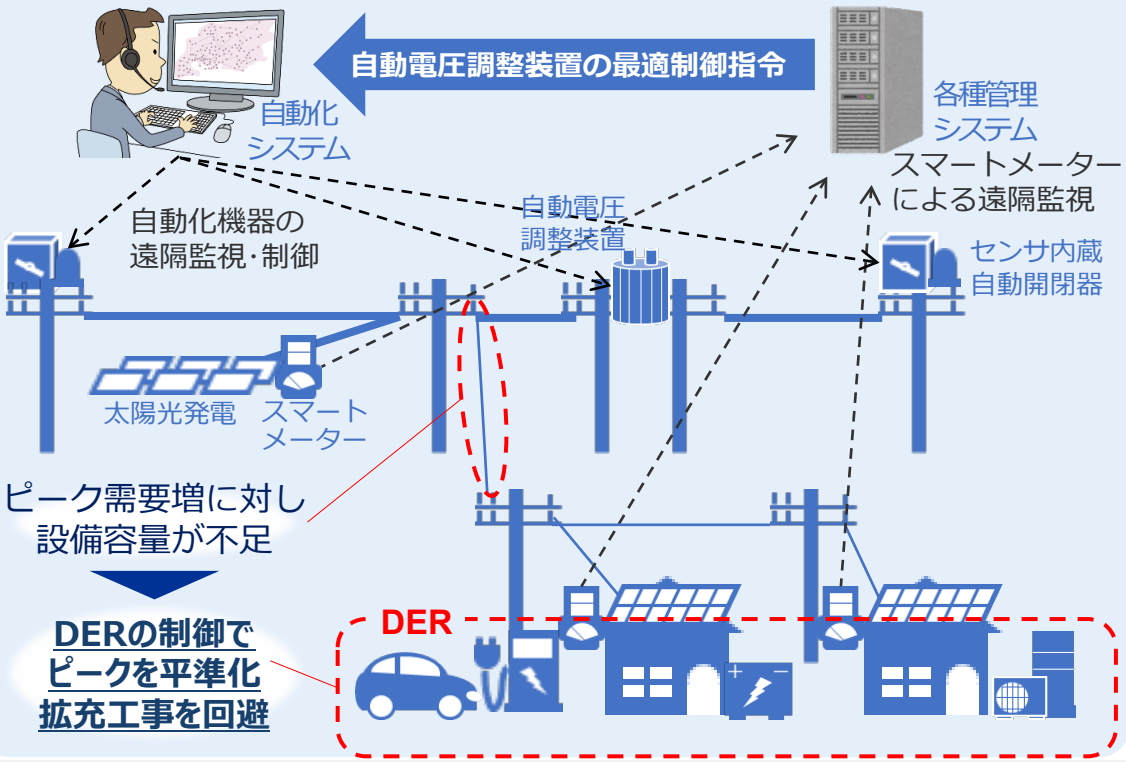
Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

地域特性に合わせた最適な設備構築

- 市街地や山間部・沿岸部など、地域ごとにエネルギーの需要や太陽光等の電源の量に差があることを踏まえ、**それぞれの地域の特性に合わせた最適な設備構築**を進めることで、エネルギー安定供給の使命を果たしてまいります。

ICTによるネットワークの見える化と電力品質の確保

- 太陽光やEVの普及に伴い**複雑化する電気の流れ**に対し、スマートメーターの情報を活用した、**系統の遠隔監視・最適制御**を実施します
- 将来に向け、EVなどの**DER(分散型電源)の遠隔制御を用いた需要の平準化による、設備の拡充工事抑制**の可能性を検討していきます



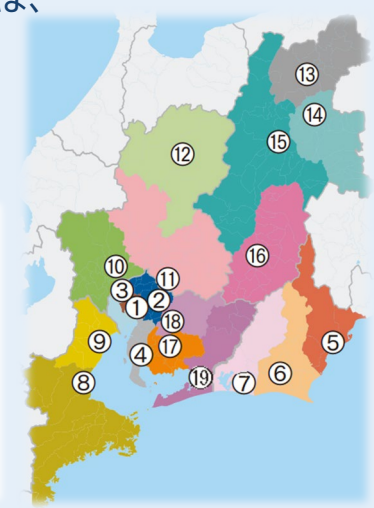
AIを活用した系統安定化システムの開発

- 太陽光発電の出力変化等により変動する電圧に対し、AIを活用したシステムで最適制御します

地域最適化に向けた19支社体制

- 中部電力パワーグリッドでは、地域ごとに支社を設置、地域の特性と向き合った自律的な運営を進めます

①名古屋 ⑧三重 ⑭上田
②旭名東 ⑨四日市 ⑮松本
③一宮 ⑩岐阜 ⑯飯田
④半田 ⑪多治見 ⑰岡崎
⑤静岡 ⑫高山 ⑱豊田
⑥掛川 ⑬長野 ⑲豊橋
⑦浜松



Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

脱炭素電源の開発・拡大による CN社会実現への貢献（1／3）

環境変化
4 CNに向けたGX拡大
5 再エネ競争激化

中部電力

● 中部電力グループは、**脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの拡大**や、**水素・アンモニアサプライチェーンの構築**を含む**ゼロエミッション電源の追求**などに、引き続き取り組んでまいります。

Mission		2023	2030	2050
		CO2削減量(2013比)：	3,250万t程度	事業全体ネットゼロ
再生可能エネルギーのさらなる拡大	2030年頃 320万kW以上	進捗:92万kW(29%) p14参照	2030年頃 320万kW以上	制度動向を踏まえつつ開発を継続・拡大
		●風力・太陽光・バイオマス・地熱・水力の着実な開発継続 ●次世代技術の実用化に向けた研究開発の推進		●次世代技術の実装による開発・拡大
原子力発電の最大限活用	より安全で信頼される発電所へ	【浜岡原子力発電所】p16参照 2023.9 審査会合にて 基準地震動 概ね妥当との評価	安全確保と地域の皆さまのご理解を大前提に、再稼働を目指し、最大限活用	＋安全性に優れた次世代革新炉の実装
火力電源のゼロエミッション化 (jera)	非効率石炭火力	2030年までに全台停廃止	CO2排出原単位 20%減	CO2排出量 60%以上削減 / CO2排出ゼロに挑戦
	石炭からアンモニアへ	碧南 20%転換 実証開始	50%以上転換	100%転換
	LNGから水素へ	実証開始	技術的課題の解決 / 本格運用開始	転換率拡大
お客さまとともに進める脱炭素	CCUS※	名古屋港における事業化推進		
		脱炭素ニーズの高まりを踏まえたサービスラインナップの充実 省エネ 創エネ Green化		詳細はこちら☞ みんなで脱炭素 PROJECT

※二酸化炭素回収・利用・貯留

主な施策のCO2削減規模 [万t-CO_2/年]

浜岡原子力発電所の活用	非効率石炭火力電源の調達見直し	石炭火力へのアンモニア転換推進
3・4・5号機が再稼働した場合 約 800～900万t	非効率石炭火力を他電源に代替した場合 約 400～500万t	100万kW級石炭火力1～2基にアンモニア20%転換した場合 約 100～200万t

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

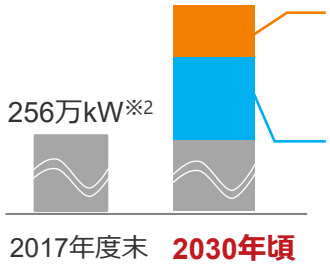
脱炭素電源の開発・拡大による CN社会実現への貢献（2／3）

環境変化
4 CNに向けたGX拡大
5 再エネ競争激化

中部電力

- **2030年頃**に、**320万kW以上**の再生可能エネルギー開発・拡大を目指し、引き続き、積極的な電源開発に取り組んでまいります。

進捗状況　**92万kW（29%）**※1
2024年3月末時点



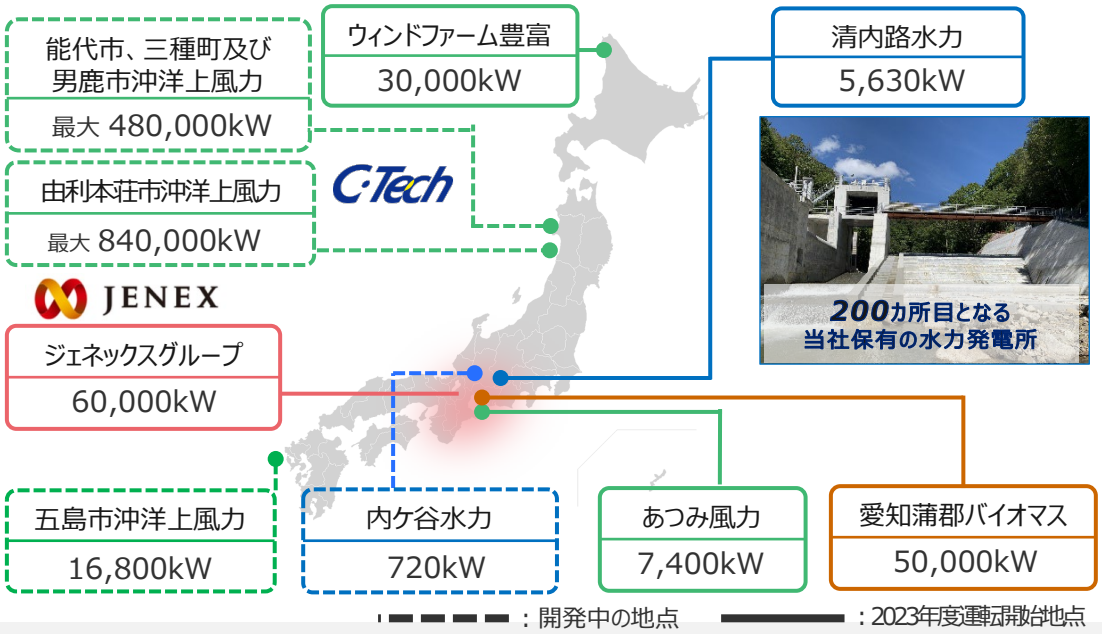
お客さまとともに進める再エネ拡大（120万kW以上）

当社グループの再エネ電源の開発加速（200万kW以上）

※1　未運開だが開発決定済み案件を含む
※2　グループ会社を含む持分容量

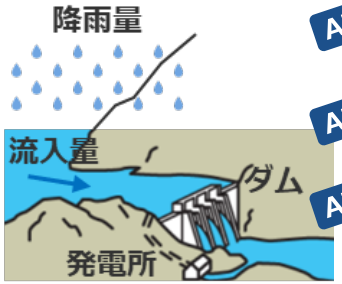
2023年度の主な運転開始地点／開発中の地点

☞詳細はコチラ



AIを活用したDXの推進

3つのAIを活用して水力発電所における最適な発電計画の策定を支援するシステムを開発



AI① 予測降雨量を基にダムへの水の流入量を予測

AI② 類似条件における過去の計画を検索

AI③ 予測流入量やダムの水位などの条件を基に最適な発電計画案を作成

技術開発（☞詳細はこちら）

低コスト化及び国産化率向上が期待できる**次世代風車の共同研究**に参画

洋上風力発電の主電源化を目指し、CN社会の実現に貢献していきます

安心・安全な発電所を目指して

発電所の開発・運営においては、安全の確保を大前提に、地域の皆さまに対する事業内容等の丁寧な説明に努めてまいります。

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

脱炭素電源の開発・拡大による CN社会実現への貢献（３／３）

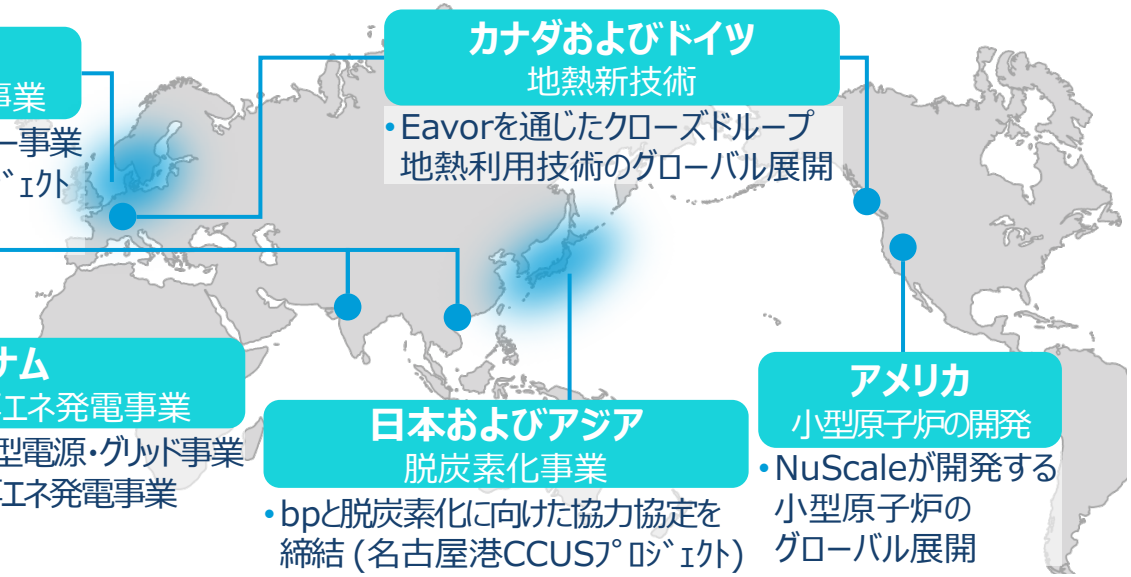
環境変化
4 CNに向けたGX拡大
5 再エネ競争激化

中部電力

欧州・アジアを中心とした脱炭素エネルギー企業へ

詳細はコチラ

- **パートナーとの関係構築に注力**しつつ、脱炭素につながる投資による**収益の確保・拡大**を図ります。
- エネルギーの作る・送る・使う事業を**その領域を越えて組み合わせる**ことで事業展開し、地域に貢献してまいります。



欧州
再エネ・小売・新サービス事業
- Enecoを通じた総合エネルギー事業
- オランダ洋上風力発電ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄへの参画

カナダおよびドイツ
地熱新技術
- Eavorを通じたクローズドループ地熱利用技術のグローバル展開

インド・ベトナム
分散型電源・グリッド・再エネ発電事業
- OMC Powerを通じた分散型電源・グリッド事業
- Bitexco Powerを通じた再エネ発電事業

日本およびアジア
脱炭素化事業
- bpと脱炭素化に向けた協力協定を締結（名古屋港CCUSﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）

アメリカ
小型原子炉の開発
- NuScaleが開発する小型原子炉のグローバル展開

オランダ洋上風力発電プロジェクトへの参画

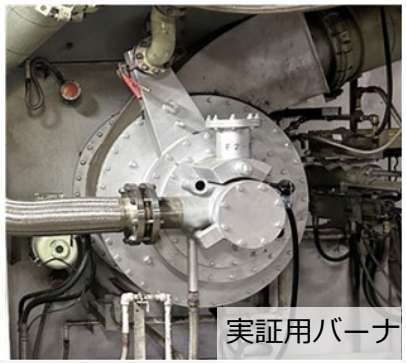
【プロジェクト概要】 詳細はコチラ

名称	Hollandse Kust West Site VI
スケジュール	2024年工事着手 2026年商業運転開始
出力	76万kW
出資会社	Shell社(60%), 当社(30%), Eneco社(10%)

世界初となる大型商用石炭火力発電機における燃料アンモニア20%転換実証試験を開始

jera

- 石炭からアンモニアへの燃料転換に向け、**熱量比20%をアンモニアへ転換する大規模実証試験を開始**いたしました。アンモニアは、燃焼時に二酸化炭素を排出しないことから、温室効果ガスの排出削減に大きな利点があると期待されています。
- アンモニア転換技術の確立などを通じて、**再生可能エネルギーと低炭素火力を組み合わせたクリーンエネルギー供給基盤を提供し、アジアを中心とした世界の健全な成長と発展に貢献**してまいります。


実証用バーナ

燃料アンモニアタンク

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

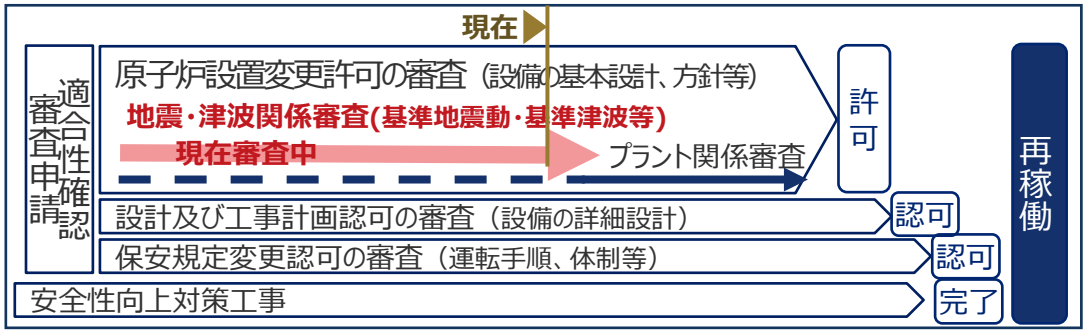
浜岡原子力発電所の再稼働に向けた取り組み

環境変化
4 CNに向けたGX拡大

中部電力

- 電力の安定供給と脱炭素の実現に向け、**安全確保と地域の皆さまのご理解を大前提に、早期再稼働を目指しております。**
- 浜岡原子力発電所は、原子力規制委員会による新規制基準への適合性確認審査を受けており、**基準地震動については2023年９月開催の審査会合において概ね妥当と評価**されました。**着実に進捗している基準津波についての審査やプラント関係の審査を通して、一日でも早く適合性を確認いただけるよう真摯に対応してまいります。**

新規制基準適合性確認審査への対応 詳細はコチラ

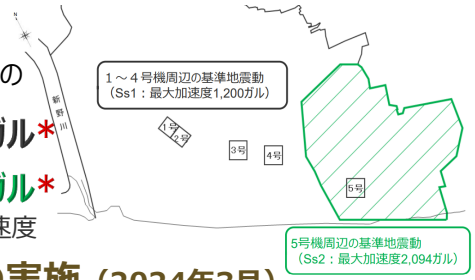


基準地震動

2023年9月に原子力規制委員会より概ね妥当との評価を受けました。

1～4号機周辺	1,200ガル*
5号機周辺	2,094ガル*

* 基準地震動のうち最大加速度



原子力規制委員会による現地調査の実施（2024年3月）

津波堆積物に係るボーリングコアや敷地の地質・地質構造に係る追加調査状況など、これまで当社が審査会合にて説明してきた内容について、原子力規制委員の皆さまに現地現物により確認いただきました。

敷地の地質・地質構造に係る当社の追加調査状況を確認している様子

より安全で信頼される原子力発電所を目指して ～地域の皆さまとのコミュニケーション～ 詳細はコチラ

地域の皆さまへ、安全性向上の取り組み等をお伝えするとともに、皆さまの不安や疑問、ご意見に真摯に向き合う活動を継続的に実施しております。

発電所見学会

周辺地域の皆さまや企業などを対象に、安全性向上対策などを実際に現場でご覧いただいています。

敷地内への浸水防止
防波壁の設置

建屋内への浸水防止
強化扉・水密扉の設置

電源供給の代替手段の確保
緊急時ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ発電機の設置

REAL！浜岡原子力発電所の今

緊急時に備えた訓練や日常の点検業務の様子など、現在の浜岡原子力発電所のありのままの姿をWEB動画で紹介しています。

詳細はコチラ

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

お客さまニーズや地域課題に応じた新たなサービスのお届け

環境変化
6 循環、地域課題
7 DX進展

中部電力

家族の絆やつながりを育む「くらしサービス」

中部電力ミライズコネクト
詳細はコチラ

●中部電力ミライズコネクトは、あなたによりそい、未来へのチカラとなるつながる世界・広がる世界を提供し続けます。

■ 地域の食と未来をつなぐ TSUNAGU series

TSUNAGU table 食卓と地域をつなぐ

- 品質に問題がないのに捨てられてしまう商品をおいしくおトクに購入して**フードロスを削減**します

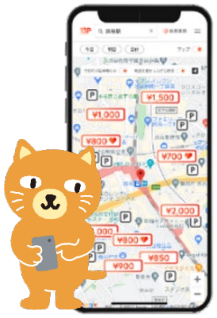
つなぐおやさい TSUNAGU oyasai

- 形や色などの理由で販売されない規格外の野菜を**おトクに販売**します

■ 駐車場シェアサービス「特P」

特P toku-p

- 空きスペースを貸出したい人と、駐車場を探す**利用者をマッチング**します
- **自治体との提携**により、イベント時の駐車場不足や交通渋滞の解消等、**地域課題解決にも貢献**します



対面接点の創出によるお客さまとの関係強化

- 住設機器の販売・ご相談
- 電気・ガスのお手続き
- 新築・窓リフォームのご相談 等

ミライズショップ
（2024年4月OPEN イオンモールナゴヤドーム前）
詳細はコチラ

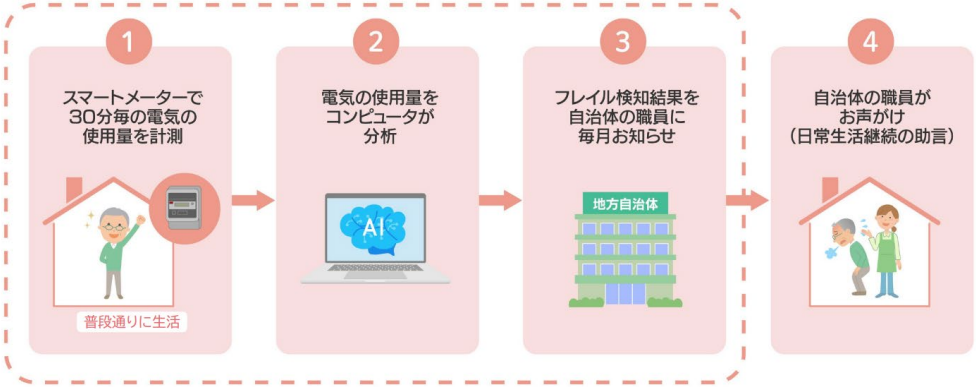
自治体向けフレイル検知サービスの提供

- 高齢化が進み、医療費や介護給付金の増加が社会全体の課題となる中、自治体が限られた要員で効率的かつ早期にフレイルを発見し、適切に介入できるよう、電力データを活用したサービスの提供を開始しました。

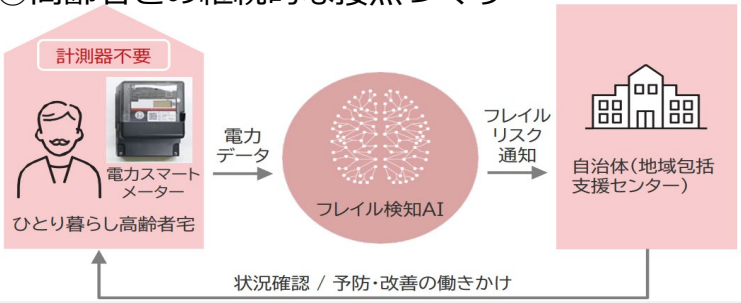
e-frailty navi フレイルナビ 2023年4月開始
詳細はコチラ

第6回日本オープンイノベーション大賞「選考委員会特別賞」受賞

スマートメーターの電力データを活用した国内初自治体向けサービス



- 高齢者に対する個別的支援を効率よく継続的に推進します
  ①フレイルになった高齢者の早期発見
  ②高齢者との継続的な接点づくり



Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

中部電力

不動産事業を通じた地域活性化

エリア広域化×ジャンル多様化による成長

日本エスコン

- 不動産事業を**全国６エリアで展開**、**あらゆる場所でお客さまへの価値提供**を目指します
- **収益構造の安定化**とともに、**多様なアセットタイプ開発・バリューアップを促進**し、さらなる成長を目指します

北海道北広島市
北海道ボールパークFビレッジ

長崎県大村市
SAKURA MIRAI SHIN ŌMURA

大阪府吹田市
TSUNAGU GARDEN
千里藤白台
(日本エスコンと中電不動産による共同事業)

中部エリア中心の地域密着型まちづくり

中電不動産

- 暮らしに必要な施設やサービスを充実させた「住･商･憩」のある**多世代共生のまちづくりを通じて地域活性化に貢献**してまいります
- **地域のお客さまニーズ**を踏まえた**地域共生施設**の開発、**災害時も視野に入れた設備設計**など、**安全で安心な地域づくりに貢献**します

iiNEタウン瑞穂 詳細はコチラ

※商業マルシェ、飲食店、医療施設、高齢者施設、子育て支援施設、分譲マンション等を有する複合施設(2024年4月商業施設OPEN)

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

マルチユーティリティサービスの提供による お客さま・地域への貢献

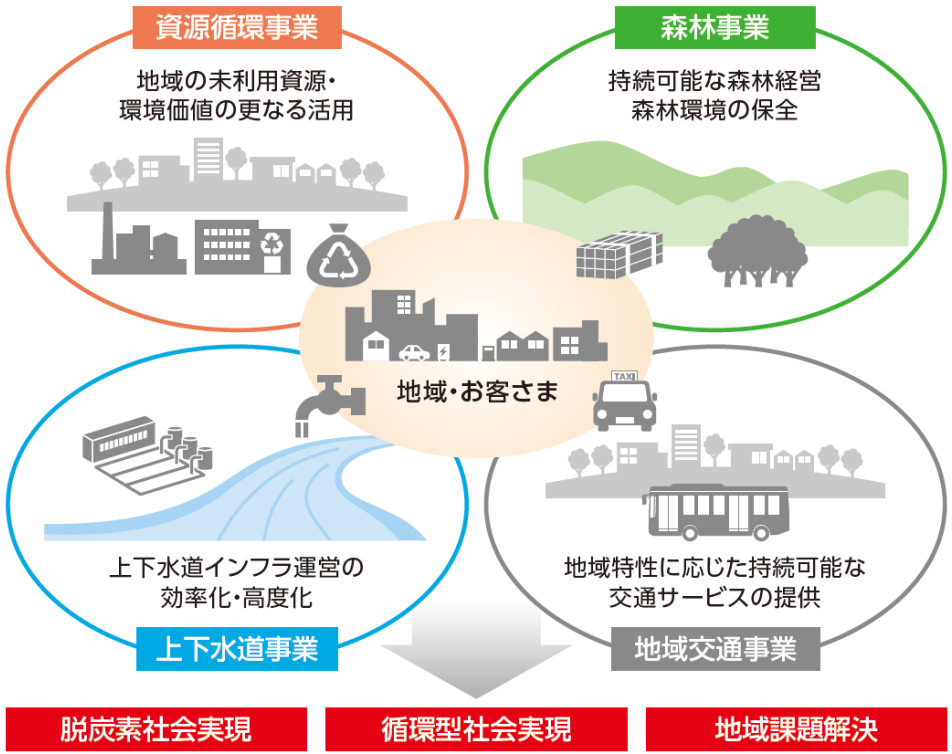
環境変化
6 循環、地域課題

中部電力

地域インフラ事業のさらなる推進

- 中部電力グループの強みである、地域とのつながり、インフラ運営ノウハウ、環境技術等を活かし、**資源循環・上下水道・森林・地域交通**といった**地域インフラ事業**を推進し、各事業領域の垣根を超えたマルチユーティリティサービスの提供を通じて、脱炭素社会や循環型社会・サーキュラーエコノミーの実現、自治体やお客さまが抱える課題解決に貢献してまいります。

地域インフラ事業の取り組み領域と提供したい価値



資源循環

中部電力グループの**地域の皆さまとの繋がり**を活かし、**「資源循環型ライフスタイル」**を支える**インフラを構築**

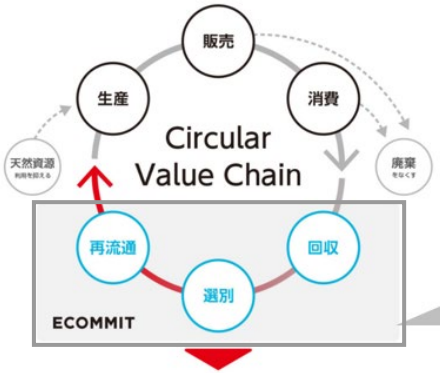
カテエネショップに不要品回収ボックスを設置

中部電力グループ
地域の皆さまとの繋がり

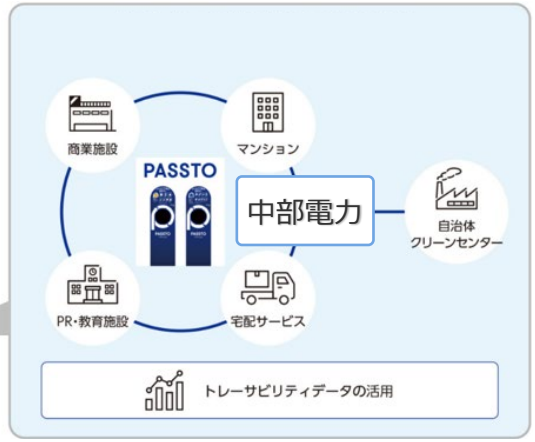
×

資源循環サービス「PASSTO」
株式会社ECOMMITが提供する資源循環サービス

詳細はコチラ



資源循環によるごみの減量化



Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

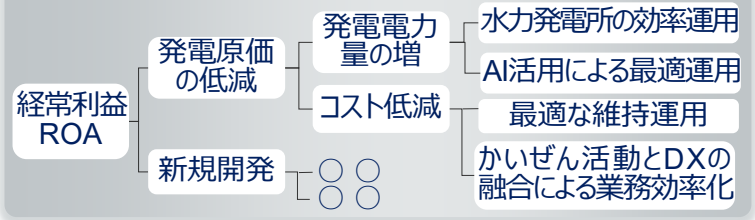
資本コストを意識した経営の実現とPBRの向上

環境変化
1 資源/金利/インフル
2 PBR向上要請

中部電力

- 各事業の**自律的な経営**と**最適な資源配分・モニタリング**により、**資本コストを上回る資本効率**を目指します。
- 株主・投資家の皆さまとの**積極的な対話や開示**、**安定配当と利益成長に応じた還元拡大**等を通じ、**PBR向上**を目指してまいります。

ROICツリー例：再生可能エネルギー事業



要素	観点	対応の方向性	足元での具体的取り組み
ROIC ＞ WACC ✖ 財務レバレッジ	■**利益率の向上** ■**資産効率の向上** ■**財務レバレッジの適正化**	✓**コストダウン推進**と**適切な販売価格**による安定的な収益獲得 ✓**資産の稼働率向上、不要資産削減** ✓**経営資源配分の最適化** ✓**格付、リスク量、資本効率**を踏まえた**資本構成**	• 中部電力ミライズにおける**標準料金メニュー見直し** • **水力発電量**の**増電(利用率向上**等) • **政策保有株式の縮減** • **投資環境に応じた投資計画の見直し**(グローバル事業等における投資厳選等) • 中長期の**最適な資本構成**について継続検討
株主・投資家の予見性向上＊ ＊WACC低減にも寄与	■**資本市場との対話、開示** ■**業績のボラティリティ低減**	✓**投資家との対話、開示充実** ✓**リスク管理高度化**による収支安定化	• **機関投資家・アナリスト**との対話(2023実績) ➢決算・経営計画説明会(4回) ➢IR部署によるミーティング(150回) ➢社長・CFO・社外取締役等によるミーティング(49回) • **電源調達におけるリスクヘッジ**(オプション・スワップ取引等)
株主還元	■**株主還元方針**に則った**着実な還元**	✓**安定配当と配当性向30%**	• **増配**公表(2024年度予想：**60円/株**)
ESG経営の推進	■**ESG経営推進**による企業価値向上・経営リスク低減	✓**ESG各項目に係る着実な取組みと非財務情報の開示**	• **監査等委員会設置会社**への移行 • **役員報酬**への**気候変動対応**項目※の組込み

※ CO2排出量「GXリーグに登録した2025年度目標」に対する達成度合い

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

人的資本のさらなる価値向上

環境変化
8 人財獲得競争
意識・価値観多様化

中部電力

● 多様な力を持つ人財が、あらゆるライフイベントやキャリアステージに応じて、安心して最大限の能力を発揮し、長期にわたって活躍できる環境を整えるための人財投資を推進してまいります。 詳細はコチラ

従業員の多様性確保への要請の高まり（経験・知識・思考・視野・性別・年齢・国籍など）	労働意識・価値観の多様化	人財獲得競争の激化	事業環境の変化

多様な人財が活躍できる環境づくり

柔軟な働き方の推進
- コアなしフレックスタイム制
- マイフレックス※1・テレワーク
- 断続勤務

2024年度制度拡充
実質週休3日制導入

知識・経験の向上
- 高度研修等の活用
- 戦略配置による育成

育児休職制度
男性育休取得率※2

2023年度実績	2025年度目標
104%	100%維持

2024年度制度拡充
孫育休導入

キャリア採用

2023年度実績	2025年度目標
24%	20%程度を維持

女性役付職数

2023年度実績	2025年度目標
2014年度の2.5倍	2014年度の3倍

挑戦する社員へ機会と支援の提供

社内公募制度の拡大

2023年度実績	2025年度目標
169ポスト	300ポスト

社内兼業・社内インターンシップの導入（2023年12月開始）

学びの機会拡大
- オンライン学習サービスの拡充
- 資格取得奨励金の拡充

最大5万円	最大30万円

職場環境・処遇の向上

賃金・賞与
2024年度
組合要求に対し
満額回答

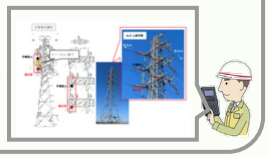
賃金改定1.2万円/月（モデル※3値）
年間賞与平均183万円

従業員エンゲージメント※4

2023年度実績	2025年度目標
BBB（11段階の上から4番目）	A（11段階の上から3番目）

安全・健康活動の推進

労働安全衛生マネジメントシステムに基づく事業場安全衛生活動 安全活動支援システムの活用
情報の一元化
水平展開



健康経営の推進
- 全従業員を対象とした人間ドックによる定期健康診断
- 産業保健スタッフによる個別保健指導
- ウェアラブル端末を活用した運動や睡眠の行動変容支援
- メンタル不調の未然予防を目的としたポジティブメンタルヘルスの取り組み

※1：1日のフレックス清算時間をマイナスとする働き方。これにより捻出した時間をライフの充実に活用
※2：育児休職と育児目的休暇の取得割合
※3：高卒29歳・勤続11年・配偶者扶養の者
※4：株式会社リンクアンドモチベーション社が提供するエンゲージメントサーベイにて測定

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

コンプライアンス、ガバナンスに係る取り組み

環境変化
9 社会的信頼低下

中部電力

コンプライアンス徹底策の強化策(2024年3月公表)

- 今般、公正取引委員会から課徴金納付命令等を受けたことを重く受け止め、**コンプライアンスのさらなる徹底**に努めてまいります。

➢**中部電力にコンプライアンス本部設置**
・上記本部設置に合わせ、CLO※1の設置、独占禁止法に精通した外部弁護士をエグゼクティブ・リーガル・アドバイザーとして設置　等

➢**中部電力ミライズの組織見直し、研修強化・拡充**
・ガス販売組織の見直しによる相互牽制機能強化　等

➢**教育の実施・競合他社との接触の厳格化**
・グループ会社における独占禁止法遵守に向けた教育の実施、競合他社との接触に関する規程の制定　等　※1　チーフ・リーガル・オフィサー

取引先の皆さまとの公正な取引

詳細はコチラ

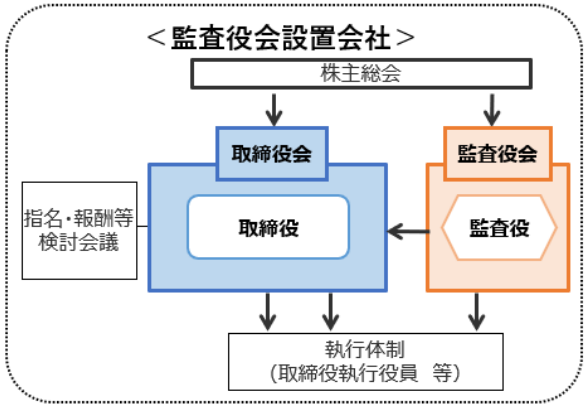
- **「中部電力グループ調達基本方針」**や**「パートナーシップ構築宣言」**に基づき、ビジネスパートナーである**取引先の皆さま**と**対等な立場**で**公正な取引**を行います。
- 中小企業庁による価格交渉等に係る調査においてグループ会社が最低評価を受けたことも踏まえ、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針※2」やその他の関連法令に基づき、**労務費・物価等の上昇に伴う取引価格の引き上げについて真摯に対応し、十分な協議を行ったうえで、適切に反映してまいります。**

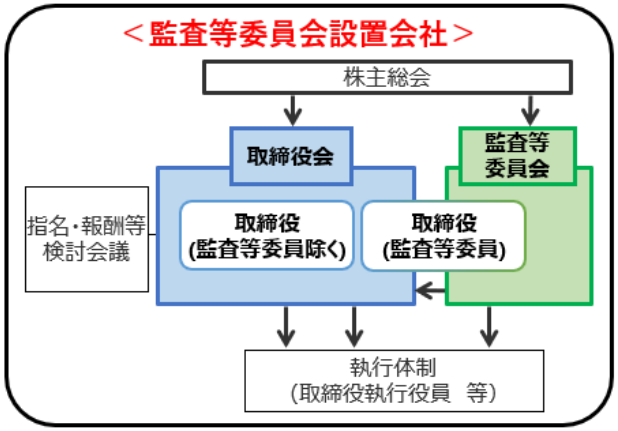
パートナーシップ構築宣言

※2 2023年11月内閣官房・公正取引委員会

監査等委員会設置会社への移行

- 経営環境が大きく変化する中、**機動的な意思決定**と、**より高度なガバナンス**の両立に向けて、監査役会設置会社から**監査等委員会設置会社へ移行**※3いたします。





※3　第100回定時株主総会(2024年6月開催予定)において承認されることを条件として実施いたします

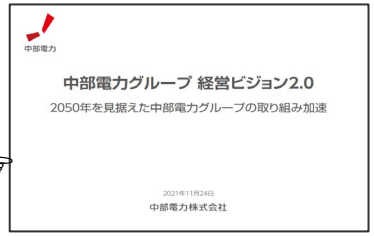
Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

経営ビジョン2.0 および 中期経営計画

- 中部電力グループ各社が地域・社会の課題解決を起点に、**全てのステークホルダーの皆さまとともに持続的な成長を実現するための取り組みをお示ししております。**（2021年11月策定）

こちらをクリックして

ご確認いただけます



- 経営ビジョン2.0実現に向けた中間地点としての**中期経営目標**や、**その達成に向けた取り組み**を**具体的にお示ししております。**（2022年4月策定）

こちらをクリックして

ご確認いただけます

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.